

2009 年度前期 学科教育改善委員会 (FD 研修会) 議事録 (案)

1. 開催日時：平成 21 年 9 月 24 日 (木) 10:00-12:00,13:00-15:00
2. 開催場所：S2 棟 3F 会議室
3. 出席者：安原一哉，横山功一，小柳武和，三村信男，沼尾達弥，呉智深，金利昭，小峯秀雄，井上涼介，山田稔，寺内美紀子，原田隆郎，桑原祐史，信岡尚道，藤田昌史，(非常勤講師) 田坂幹雄 (学科事務職員) 石川比奈子 (順不同,敬称略)

1) 開会の挨拶 (沼尾)

2) 前期学科各科目の点検と評価

1. 情報処理概論 (藤田)

- ・情報倫理+Web を用いた情報収集→Word、Excel、Powerpoint の順に授業を進行させた。
- ・特に Excel の講義では、利用経験者と未経験者との間に理解力に差があった。
- ・理解度に応じてフォローアップすることが課題としてあげられた。

2. 数理統計 I (山田)

- ・昨年と比較して成績が若干下がったが、十分な水準は維持できている。

< 議論内容 >

- ・社会的要求と合格レベルとの関係について。
- ・取り止め者は 3 年生が多い。

3. 地震および振動工学 (井上)

- ・小テストを 4 回行った。
- ・小テストの成績が悪かったので、授業の進度を遅くした。
- ・数学の基礎知識の乏しい学生がいる。

< 議論内容 >

- ・中間試験等 5 回は、授業内で実施した。
- ・レポートは、必須の内容を科している。

4. コンクリート工学 (沼尾)

- ・昨年度に比べて欠試者が多かった。出席状況は悪くない。
- ・視覚的な情報を提示した。
- ・アンケートの回答がいい加減な可能性がある。
- ・月曜日の授業は不規則になる。

5. 生態学 (藤田)

- ・来年度は都市システム工学に関連するトピックスを増やすことを課題としてあげた。

6. 都市システム工学トピックス I, II (原田)

- ・成績評価はレポートで行ったが、外部講師ごとに評価の重みのばらつきが生じた。
- ・都市システム工学トピックス II の開講時期を検討する必要があるのでは？

< 議論内容 >

- ・外部講師には、事前に社会的要求を説明する。
- ・レポート課題のフォーマットを統一した。

- ・講義ごとにアンケートを取ることを検討しては？

7. 都市システム設計演習Ⅰ（小柳）

- ・昨年度はA評価以上がいなかったが、今年度は20%程度いた。
- ・昨年度よりアンケートの評価結果はよかった。

<議論内容>

- ・学生の負担意識を軽減する工夫。

8. 空間設計（小柳）

- ・演習をできるだけ取り入れて、理解を助けた。
- ・1名、JABEE項目を満たさない学生がいた。

<議論内容>

- ・社会で使われている資料をベースにした演習問題を作成している。他の科目でも足並みを揃えて、全体として取り組むべき。

9. 地球環境工学（三村）

- ・73名の履修者中7名の取り止め者は、他学科の履修者だった。
- ・成績は上がったが、評価は落ちた。
- ・中間評価は高いが、最終評価は相対的に低い。
- ・環境工学は、「考えさせる」、「参加型」の授業が必要。

<議論内容>

- ・最終アンケートの質問の仕方に検討の余地があるのでは？
- ・高校生の履修者に比べて、本学科の履修者の意識、専門知識ははるかに高い。

10. 都市システム工学製図Ⅰ（寺内）

- ・今年度からの開講。
- ・発表会が不調だった。

<議論内容>

- ・発表会で質問が出ない。昨年度の主題別ゼミでは活発だった。批評や議論に慣れていない。個別とグループ発表の違いがあるかも知れない。

11. 建築学概論（寺内）

- ・予習をさせている。
- ・教員のコメントを発信できるように、発表の時間配分を検討する。

12. 都市システム工学序論（金）

- ・レポート未提出、遅刻提出があった。動機付けの観点では課題として残った。E評価とした。
- ・レポートの回数を10回から8回に減らしコメントを付けて返却することにしたが、計画どおりにはできなかった。

<議論内容>

- ・成績判定後のレポート提出の取り扱い。

13. 土木計画論（金）

14. 土の力学Ⅰ（安原）

- ・試験対策として補講を1回行い、合計16回の授業を行った。
- ・成績はここ数年向上している。
- ・授業中のミニ実験は有効である。

<議論内容>

- ・声の大きさ、板書の見やすさは、教室の設備に依存することが大きい。改修工事で改善される。

15. 海岸工学（三村）

- ・成績分布が昨年度までと異なり、二極化していた。

<議論内容>

- ・中学等でも成績分布が正規分布にはならない例がある。理解度？やる気？

16. 応用数学Ⅰ（信岡）

- ・平澤先生のご尽力で、成績、授業評価が向上している。
- ・質問しやすい雰囲気を作っている。
- ・計算力は落ちているので、授業で工夫している。

<議論内容>

- ・専門の関係科目間で議論して、授業で取り扱う内容を検討する。

17. 建設工学演習Ⅰ（呉）

- ・いろいろ改善策を講じている。

<議論内容>

- ・授業で理解できていない学生の取り組み方はどうか？個別に対応するには限界がある。
- ・成績の評価基準などを提示すべき。

18. 都市システム情報処理（横木）

- ・理解度を高めるために、授業中に解く問題を増やした。課題を少し難しくした。

19. 数学解析Ⅱ（植木）

- ・昨年度の履修者が7名だったのに対し、今年度は27名履修した。
- ・授業の改善効果が成績に反映されている。

20. 鋼構造および橋梁工学（横山）

- ・授業アンケートから、理解度、満足度、進度に関しては、ほぼ満足する状況であった。

21. 建築構造設計（沼尾）

- ・出席を促すために、出席点を10%として評価した。
- ・受講人数が少ないため、課題提出（12回）毎に聞き取り調査を行った。

22. 建設材料学（沼尾）

- ・演習課題の解説に時間を割いた。多少進行が遅れた。
- ・スライド、ビデオなどを利用して、材料のおもしろさを視覚的に伝える工夫を引き続き行う。

<議論内容>

- ・視覚的な講義材料の示し方。実物の利用は？
- ・建築志望の学生の材料学に対する興味は？学生の実感がわからない。
- ・底炭素社会の観点で、木質材料の講義をしては？既に行っている。
- ・見学など、モノに触れる機会を作る。

23. 水理学Ⅰ（信岡）

- ・課題演習の効果が成績に反映された。
- ・国家一種試験を合格できるような学生を育てる。

24. 都市システム工学実験Ⅰ（信岡）

- ・成績評価を細かく行ったため、昨年度と成績分布が異なった。

- ・レポート作成時間に大きなばらつきがあった。
- ・レポートの体裁は整っているが、理解度が低い場合がある。

<議論内容>

- ・限られた時間内での問題処理能力。オリジナリティの評価と所要時間との関係。
- ・担当毎にアンケートを実施しては？実験のスケジュールの都合上、結果の代表性が問題となる。これまでどおり、最終のアンケート結果をもとに改善していく。

25. 基礎環境地盤工学（小峯）

- ・成績が二極化している傾向がある。理解度の違い？あきらめ？
- ・必須の項目（支持力式の誘導など）は試験に出題することを言っているが、放棄する傾向があった。ここ2年ぐらい、この傾向がある。

26. 構造力学Ⅰ（呉）

- ・楽しい授業を心がけた。
- ・理解しやすい授業になるように工夫した。

<議論内容>

- ・2年生の三力の成績は例年よりよい。
- ・1年次に履修する材料力学と三力との関係。関連科目間で体系立てた講義内容を検討する。

27. 土木計画論演習（山田）

- ・土木計画論との連携強化。
- ・ボーダー付近の学生の成績が向上している。
- ・来年度は成績上位の学生にインセンティブを与える。

28. 計画数理（山田）

- ・昨年度に比べて成績が低下した。
- ・来年度、講義が変わる。これまでの実績を参考にする。

29. 空間情報工学（桑原）

- ・今年度から開講。
- ・自作スライドを利用している。来年度は教科書を指定する。

30. 土木行政（小峯・田坂）

- ・履修者数が増えたが、取り止め者が多い。就職活動との兼ね合い。

<議論内容>

- ・開講時期について。3年次後期には向かない。
- ・1単位にして外部講師をお願いする可能性、必修科目に変更する可能性など、教務WGで議論する。
- ・学科教員で4年生前期の科目の履修を推奨する。
- ・土木行政の名称について。
- ・田坂先生より大学では基礎力を身につけることが重要であると指摘があった。

31. 数値計算法（村上）

32. 線形代数（村上）